

令和5年度の広報及び琵琶湖疏水関連事業の取組状況について

上下水道局事業への理解促進や水需要の喚起のために取り組む広報活動においては、水に関する記念日にイベントを実施するとともに、局マスコットキャラクターのブランディング強化を図る取組を推進している。

琵琶湖疏水関連事業については、びわ湖疏水船の航路延伸に向けた取組のほか、琵琶湖疏水記念館の更なる魅力向上に向けた改修等を実施している。

1 広報活動

昨年度までは、「紙兎ロペ」や「テルマエ・ロマエ」などの人気キャラクターを活用した動画配信や印刷物を活用した広報活動に取り組み、その知名度や親しみやすから、幅広い方にアプローチすることができた。今年度は、そのキャラクターマーケティングの手法を、当局のマスコット「(ホテルの) すみと・ひかり」にも活用していくべく、まずは知ってもらうことを主眼に、ブランディング強化を図っていく。

その一環で、「水道週間」や「水の日」をはじめとする水に関する記念日等に連続性を持たせたイベントを開催しており、どの場面においても、マスコットの人気は高く、市民等とコミュニケーションを深めるのに、大きな役割を果たしている。

(1) 水道週間（6月1日～7日）

6月3日（土）、哲学の道周辺で実施。国内外からの観光客に、日本の水道水の特長（水道水を飲用できるのは世界11ヶ国のみ）をPR



(2) 祇園祭

7月17日（月・祝）と24日（月）の山鉾巡行当日、京都市役所前広場において、ミストと冷やし水道水を提供



TBSニュース

(3) 夏休み下水道施設見学会

7月27日（木）、上下水道局総合庁舎において、局マスコットと交流。その後、鳥羽水環境保全センターに移動し、施設見学と水質実験等を実施。



(4) 水の日（8月1日）

8月1日（火）、京都アクアリーナ（西京極）で親子等を対象に、水に親しみ、水道事業への理解を深めていただく「アクアキッズ京都」を開催



2 びわ湖疏水船

運航6年目を迎え、本年4月13日に累計乗船者数5万人を達成した。令和5年春運航の乗船率は86.9%と、前年同期を1.1ポイント上回った。

また、大津側の乗下船場を現在の三井寺周辺から琵琶湖・大津港に延伸する取組を進めている。

(1) 現況について

◆運航実績

	運航期間	運航日数	乗船者数	乗船率
R 4 春季	3/26-6/12	62 日	7,149 名	85.8%
秋季	10/1-11/30	47 日	5,731 名	94.5%
R 5 春季	3/25-6/11	62 日	7,110 名	86.9%
秋季	10/1-11/30	47 日	—	—

◆親子乗船会

市内在住の親子等を対象に令和2年度から優待企画（小中学生：無料、高校生以上：2,000円）を実施中。令和5年春運航は、6月の土日5日間に実施し、585名が参加（抽選倍率4.1倍）



<参加者の声>

- ・子供が学校で疏水の勉強をした後なので、知識が深まりよかった
- ・こういう機会がないと、わざわざ行こうと思わなかったかと思う。
- ・水道がどのように確保されているか知れた。親子で水の話を話したい。

(2) 航路延伸に向けた取組状況について

ア 大津閘門電動化改修工事

船が通過する際、琵琶湖と琵琶湖疏水の水位差（0.3m～1.0m程度）を調整する閘門（平成元年建造）の開閉装置老朽化に伴い、手動式（ハンドル方式）から電動式に改修する工事を行うとともに鉄扉を更新。

イ 運航訓練

延伸区間（三井寺⇄大津港）において、大津閘門を通過し、大津港に着岸する訓練を6月に実施。大津閘門の開閉オペレーション、安全点検や運航基準など、本格運航に向けての確認や課題抽出を行った。

本年9月にも訓練を実施予定（蹴上⇄大津港のフル航路）。



大津閘門



大津閘門開閉訓練

ウ 新船建造

船の運航スケジュールに機動性を持たせるため、4艘目の船舶を建造中。

エ クラウドファンディング

船舶建造や乗船場環境整備など、航路延伸に係る経費の一部を賄うため、びわ湖疏水船の運航主体である琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会において、クラウドファンディングによる寄付を募集。

実施期間：令和5年3月24日～6月21日

寄付額：257.6万円（目標額200万円の128.8%）

3 琵琶湖疏水記念館

来館者の受入環境環境の向上や賑わい空間の創出を図るため、文化観光推進法による補助金を活用し、令和5年1月～2月に、グッズスペースやカフェの設置工事等を実施。地下倉庫を改装した「そすいカフェ」については、多い日には1日で800名を超える方に来店いただくなど（3月30日、桜シーズン）、多くの方にご利用いただき、「とても良い」「良い」との肯定的評価が9割を超え、「景色もスペースも素晴らしい」「ゆっくり座れてよかった」などの声が寄せられた。

今後は、令和6年度までの2か年計画で、屋外スペースのデッキテラス化等の工事を行う。

(1) 令和4年度の整備



グッズスペースの設置



フィールドミュージアム情報の充実



デジタル発信機能の集約



そすいカフェ（令和5年3月～5月に営業。テラス工事完了後、令和6年3月末、営業再開予定）

(2) 令和5年度改修

ア 地下テラスのデッキテラス化

令和4年度に新設したカフェスペース（そすいカフェ）に隣接する地下テラス部分をデッキテラス化することで、疏水を見ながらゆったりと過ごしていただける憩いの場としての整備を行う。



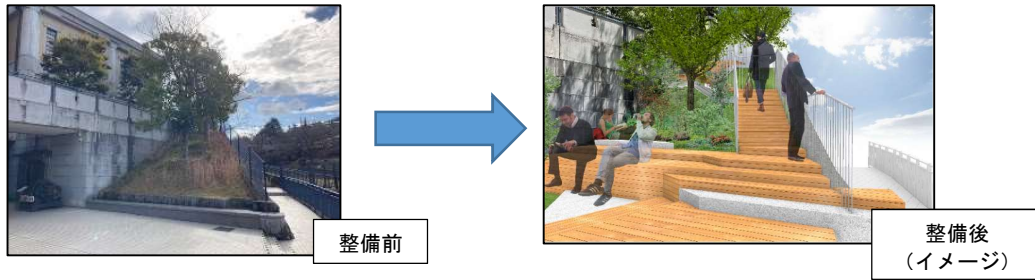
整備前



整備後
(イメージ)

イ 地下テラスへの屋外階段の新設

琵琶湖疏水記念館の正面入口から、地下テラスに直接下りることができる階段を新設することで、地下テラスへのアクセスの向上を図る。



(3) 令和6年度改修（予定）

1階テラス部分をデッキテラス化するとともに、南禅寺前交差点側に入口を新しく設置します。

(4) 特別展の開催

「鴨川運河」の誕生から現在までの歴史を貴重な資料とともにご紹介する特別展を初開催。

名 称：文化庁移転記念・琵琶湖疏水記念館特別展「フィールドミュージアム
琵琶湖疏水 鴨川運河の誕生～京都・伏見をつないだ水の路～」

期 間：令和5年6月20日（火）～12月24日（日）

4 疏水沿線魅力発信

琵琶湖疏水沿線を歩いて楽しんでいただくため、琵琶湖からの距離を示す道標（キロポスト）を整備し、散策マップを発行する「そすいさんぽ」事業の全3コースが完成。また、人気観光ガイドブック「ことりっぷ」とコラボレーションした小冊子を新たに発行した（令和5年3月）。

(1) 琵琶湖疏水散策道「そすいさんぽ」

ア コースの概要

かつての疏水や疏水が合流している濠川などを含む全34.8km

①大津－鴨川コース（令和4年3月整備）

琵琶湖から山科、蹴上、岡崎を経て、鴨川までの12.5km

②鴨川運河コース（令和5年3月整備）

鴨川から南下し、深草、伏見を経て宇治川までの12.6km

③疏水分線コース（令和5年3月整備）

蹴上から哲学の道、松ヶ崎を経て堀川通までの9.7km

イ 現地道標（キロポスト）



キロポストのデザイン例



設置風景（自立柱のほか、フェンス、電柱、路面に表示）

(2)「ことりっぷ」琵琶湖疏水編

ア タイトル

京都の水路めぐり 琵琶湖疏水・哲学の道・岡崎・伏見

イ 内容

びわ湖疏水船や疏水関連施設のほか、沿線のレストラン、カフェなど「見る」「食べる」スポットなど

